盛岡市プレスリリース
～性別等に関わらず誰もが尊重され活躍できるまち盛岡の実現～

令和７年３月10日
盛岡市市民部
市民協働推進課
男女共同参画推進室

市政記者クラブ加盟社　各位

もりおか女性センター ニュースレターについて

情報紙「もりおか女性センター ニュースレター №111」を発行しました。

今号では、女性たちの功績を祝福しジェンダー平等について考える３月８日の国際女性デーにあわせ、もりおか女性センターの１年を振り返り、ジェンダー平等社会実現に向けて展開した様々な事業を写真や事業チラシとあわせてご紹介しております。

記

【掲載内容】

もりおか女性センター　令和６年度事業を振り返って

【問い合わせ先】
もりおか女性センター
担当：畑中（はたなか）
TEL：019-604-3303

起業講座

起業に関する知識やノウハウを習得し、女性の起業を後押し

公開講座では、先輩女性起業家から起業に至るまでの経緯、事業への想いなどをご紹介いただきました。連続講座では、起業の基礎や事業ユニット作成の他、各回での交流、最終回の販売体験を通じ、起業への一歩を後押しする講座となりました。

就労支援講座

キャリアデザインを通し
自分が望む姿を見つめる

自身の人生(キャリア)を振り返り、見つめなおすことで自己評価の視点を変えるきっかけを掴みました。グループワークではキャリアを共有し不安を軽減することで、自己肯定感を高めました。

SNS講座

Instagramの
効果的な発信方法

Instagramの基礎や気を付けるべき要点の他、講師の事例をご紹介いただきました。また、素材作りに有効なサイトの情報やすぐに使えるテンプレートもご提供いただき、実践に繋げることができました。講座終了後も参加者同士が交流する姿があり、横の繋がりを作るきっかけの場となりました。

起業応援ルーム　芽でるネット

最新情報は、Instagramをチェック▶

事業のお知らせの他にもお部屋の様子や出店体験のスケジュールなどを投稿しています。是非フォローして情報をGETしてください。

MEDERU.NET.2023

情報事業

「ジェンダー平等推進に繋げるための『知る』のきっかけに」
もりおか女性センターは「情報提供・収集場所」でもあります。

●図書コーナー
常時「スタッフが今読みたい本」を紹介。また新規購入図書は、みなさんが手にとりやすく、ジェンダーへの気づきに繋がる本を選書して利用促進に努めました。

●業務概要
令和5年度の活動報告をまとめた1冊。女性センターHPで発信。県内市町村男女共同参画担当課や全国の女性関連施設にお届けしました。

●ニュースレター
6月発行の109号より、紙面を大幅にリニューアルしました。昨今の社会情勢やジェンダー問題などをより読みやすく伝える工夫をしてお届けしました。

●ホームページ・SNS
盛岡市内外の方にもりおか女性センターの講座情報や施設情報等を届ける為にホームページの他、InstagramやXなどでも情報を発信しました。

相談

受付電話　**019-604-3304**　相談開設時間　月・火・金　10：00～17：00
相談は無料です。秘密はかたく守ります。　水・木　10：00～20：00

●女性相談
女性がかかえる、家庭や職場、身の回りのさまざまな悩みを、専門の相談員が一緒に考えます。性別や社会通念にとらわれず、一人ひとりの生き方を尊重する社会の実現をめざして、相談室はあなたらしい生き方を支援します。電話相談と面接相談があります。（予約の方優先）また、ホームページの相談フォームからメール相談も受付けます。

●男性相談
男性の相談員による電話、もしくは面接相談。
予約が必要です。原則毎月第2土曜日に実施予定。
場所などの詳細はホームページでご確認ください。

●LGBT相談
電話相談のみ。予約が必要です。

アンケートにご協力ください

もりおか女性センターニュースレターでは、今後のより良い紙面づくりのため、アンケートを実施しています。ご意見、ご感想、取り上げてほしいテーマなど、グーグルフォームにてお受けいたします。

発行日：令和7年3月10日
発　行：もりおか女性センター
（指定管理者：特定非営利活動法人　参画プランニング・いわて）
〒020－0871 岩手県盛岡市中ノ橋通1-1-10プラザおでって5階
電話番号　(019) 604－3303　　FAX (019) 601－4031
開館時間　月曜日～金曜日　9：00～21：30（土日祝17：00まで）
休 館 日　毎月第2火曜日、年末年始

最新の情報は
ホームページから！

事業のご案内、スタッフのつぶやき…

X（旧Twitter）　Instagram

もりおか女性センター 2024年度事業テーマ「チェンジ！誰もが自分らしく生きる未来へ」

もりおか女性センター ニュースレター News Letter №111 2025.03

特集

もりおか女性センター 令和６年度事業を振り返って

学ぶ
→ 学習・研修の機会の場

出会う・力をつける
→ 活動促進・交流の場

悩み・考える
→ 相談

考え究める
→ 調査・研究事業

知る
→ 情報提供・収集場所

もりおか女性センターは、
女性の自立と社会参画を支援するとともに
男女共同参画を推進する拠点です。

もりおか女性センター
令和6年度 事業を振り返って

毎年3月8日は国際女性デー

この日は、女性たちの功績を祝福し、ジェンダー平等について考えるイベントが世界中で開催されています。また、国や民族、言語などに関係なく、これまで行ってきた取り組みやその成果をあらためて確認する日でもあります。

誰もが自分らしく生きることのできる未来のために、もりおか女性センターでは今年度もジェンダー平等に向けたさまざまな事業を展開しました。

国際女性デーにあわせて、もりおか女性センターの1年を振り返ってみましょう！

防災連続講座

ジェンダー視点の防災を学ぶ

防災の基本とジェンダー視点の必要性を講義で学び、グループワークで備蓄や避難所での過ごし方について考え、防災食作りの実践演習を通して暮らしの中での防災意識を高めました。私たち一人一人が、自分事として捉え行動していくことが未来につながることを再確認できた講座でした。

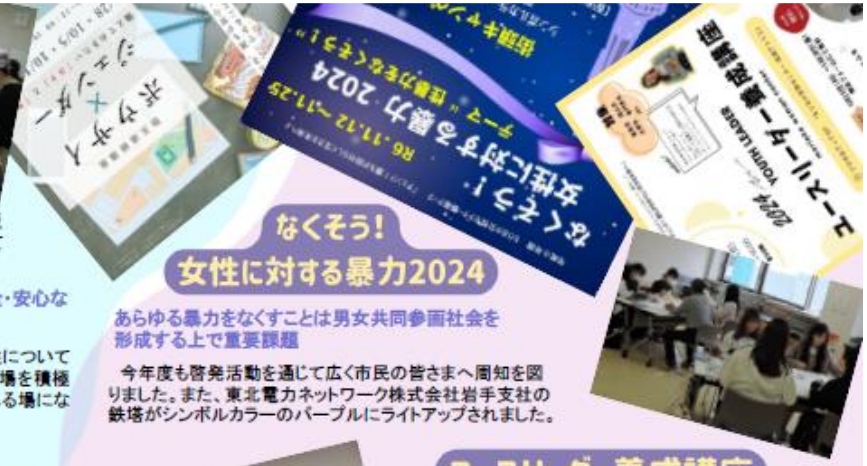
防災出前講座

多様な人々にとっての安全・安心な暮らしについて考える

依頼のあった地域に出向き、多様な視点の防災の重要性について理解を深めることを目指しました。住民同士の話し合いの場を積極的に設け、意見を共有することで、学習の達成感が得られる場になりました。

なくそう！女性に対する暴力2024

あらゆる暴力をなくすことは男女共同参画社会を形成する上で重要課題



今年度も啓発活動を通じて広く市民の皆さまへ周知を図りました。また、東北電力ネットワーク株式会社岩手支社の鉄塔がシンボルカラーのパープルにライトアップされました。

男女共同参画週間 もりおか展2024

やりたいことを諦めず、家庭でも仕事でも活躍できる社会へ

矢野智美さん(株式会社ヘラルボニー岩手コミュニティマネージャー)を講師にお迎えし、これまでのご経験や、ご家族のこと、転職の壁などについて講演いただきました。

渡部あさみさん(岩手大学人文社会科学部准教授)との対談では、参加者から「日常におけるモヤモヤエピソード」を募り、会場の皆さんと共有。10代から80代までの多くの方に参加いただき、自分らしく生きるためのヒントを探る機会となりました。

ユースリーダー養成講座

自分も他人も大切にする人間関係づくり、自尊感情を持って生きる大切さ

「男女共同参画とは？」「自分も相手も大切にするとはどういうことか」などについて学びを深める機会となりました。

人権出前講座

自分も相手も大切にするコミュニケーションを学び人権意識を築く

今年度は中学校・高校・大学で講座を開催し、デートDVを中心に相手とのよりよい関係の築き方を伝え、自分も相手も大切にすることについて考える機会となりました。

他にもこんな事業がありました

- おしゃべりルーム
- ウィメンズサロン・ゆるり
- 生理用品配布

ジェンダー論講座

ジェンダー視点でのモヤモヤから見えてくること

講義とグループワークを通しお互いのモヤモヤを共有することで、違和感を再認識するとともに、現在の状況に疑問を持ち、声をあげていくことの大切さを参加者と共有しました。

第2回目には渡部あさみさんを講師に迎え、日本における女性活躍の変遷を年代別に解説していただき、歴史的経緯と社会構造について学びました。

フェスティバル2024

社会が抱える課題を共有

映画上映会では「人権」をテーマとし、難民問題、LGBTQ+を取り上げた作品を通して多様な人の在り方について理解を深めました。

誰しも生きづらさを抱えて生きる社会の中で、生まれ育った環境や境遇、性のあり方の違いによって、より困難な生き方を強いられる人たちがいます。誰もが自分らしく生きられる社会のためにできることについて、考え、理解することの大切さについて改めて気づく場となりました。

ひとり親支援事業

クッキング＆いすヨガ体験

子どもたちはクッキング体験で手作りのピザやスープを作り、母親たちは別室でいすヨガを体験し心身をリフレッシュ。最後は親子みんなで交流しながら試食を行い、楽しいひと時を過ごしました。

片付け講座と中国茶体験

親子一緒に簡単で持続可能な片付け方法を学んだあと、中国茶の香りや味の変化を楽しみ、奥深さに触れ、親子でリラックスした時間を過ごしました。

市民団体支援事業

男女共同参画社会実現のために活動する市民団体の活性化を目指して

市民団体の活動を支援する「市民団体支援事業」には、今年度は3つの団体が参加。身近な防災活動や防災品の展示、介護の実態、市内で活躍する女性町内会長の役員としての苦労や活動についてなど、多岐に渡る事例をそれぞれ発表。どの団体の講座にも目的意識を持った参加者が多数参加し、見識を深める場となりました。